

救急医療機関における自傷・自殺未遂レジストリの運用およびデータ利活用

1. 研究の対象

全国の救命救急センターを有する医療機関を受診された自傷・自殺未遂患者さん（病院到着時心肺停止者、死亡転帰となった者、未成年者、障害等により意思決定が十分にできない者を含む）です。

2. 研究目的・方法

（1）目的

全国の救命救急センターを有する医療機関を受診した自傷・自殺未遂症例の情報を収集・集積し分析することで、これまで明らかにされてこなかった自殺行動に至る危険因子や保護因子、社会情勢等によりリスクに晒される脆弱な集団、模倣される自殺企図手段などを同定し、自殺対策に有効な知見を得ることを目的とします。また、本邦の詳細な自殺既遂統計と組み合わせた検討により、本邦全体の自殺対策および救急医療の向上に寄与することを目的としています。

（2）方法

1）対象患者さん

本研究の対象となるのは、全国の救命救急センターを有する医療機関を受診された自傷・自殺未遂患者さん（病院到着時心肺停止者、死亡転帰となった者、未成年者、障害等により意思決定が十分にできない者を含む）です。

2）この研究で用いられる方法

個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関する種々のデータをレジストリシステムに登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。

3）研究期間

研究実施期間は、研究倫理審査委員会承認後から 2030 年 3 月 31 日までの予定です。

3. 研究に用いる患者様情報の種類

年齢、性別、国籍、来院日時、来院手段、自傷・自殺未遂の手段・場所・日時、来院時バイタルサイン（GCS、血圧、脈拍など）、希死念慮・自殺念慮の有無、薬物・アルコール使用の有無、身体的診断名、外来時転帰、入院後転帰、精神科コンサルテーションの有無、過去の精神科受診歴・入院歴・自傷自殺未遂歴、社会経済状況（生活環境、配偶者の有無、生活保護・障害者手帳の有無、職業）などです。

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報（氏名、住所、生年月日など）は収集しません。データベースへのアクセスは ID とパスワードにより適切に管理しています。収集した匿名化データは学術的研究施設（海外を含む）に提供されますが、研究目的以外には使用しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。レジストリデータは Microsoft 社の Azure をクラウドサービスとして使用する TXP Medical 株式会社のプラットフォームで管理されており、適切なセキュリティのもと運用されています。

5. 研究組織

【研究代表者】

帝京大学医学部救急医学講座 三宅康史

【研究事務局】

一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター 自傷・自殺未遂レジストリ事務局

【参加施設・責任者】

別紙の資料（参加施設リスト）をご覧ください。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、レジストリへ登録後でも、お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済みの研究結果からの削除はできない場合がありますので、ご承知下さいますよう何とぞお願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設名：一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター

メール：registry@jscp.or.jp

研究責任者：三宅 康史

追記 参加施設連絡先

施設名：昭和医科大学藤が丘病院 救命救急科

住 所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話：045-971-1151

参加施設責任者：宮本 和幸 連絡担当：齋藤 弘美